

豊南小学校・校長室だより

平成 29 年 (2017 年) 4 月 25 日
発行者 西山 博章

児童数配布

4月も最終週になりました。ね・・・

第 3 号
(通算 89 号)

4月の学校での出来事を徒然(つれづれ)なるままに書いてみようと思います・・・

早いもので、ついこの間「入学式」、「始業式」を迎えたと思っていたら、4月が終わり、来週は5月のゴールデンウィークに入ります。子どもたちはそれぞれの学年、クラスにも次第に馴染み、各教科の授業も動き始めています。子どもたちの表情も、昨年までとは異なり確実にひとつ階段を上った「しっかり」した頼もしい表情になっています。今週末の参観ではその様子をじっくりとご覧くださいね。

☆☆☆4月18日(火) 6年生対象に「全国学力学習状況調査」が実施されました。

先週火曜日には、全国一斉に6年生、中学3年生を対象に「全国学力学習状況調査」が実施され、本校でも6年生が真剣に取り組みました。1時間目が『算数A・国語A』(※いわゆる基礎問題)で試験時間は2つで40分間、2時間目が『国語B』、3時間目が『算数B』これらも試験時間はそれぞれ40分ずつ(あいだに休憩が入ります)(※B問題は、応用力を調べる問題です)、最後に4時間目の一部を『児童質問紙』という「学校生活や学習に対する意識等」のアンケートに答える時間でした。



このテストは学校の成績には関係しません。では、何を調べるものかというところ、全国の6年生がそれまでの学年で算数、国語で本来習得していなければならない内容をどの程度習得しているのかを全国レベルで調査、分析し、これからの各教科の学習指導に生かしていくために活用するものです。いわゆる「入学試験」で出題されるような問題とは内容が異なります。ただ、きちんとしたデータをとるために、試験実施にあたっては、**厳正な受験態度**が求められます。例えば、「指示があるまで問題用紙に触れてはいけない。」「解答はすべて解答用紙のきまった欄に書く。」「途中で、消しゴムや鉛筆が机から落ちたら声をださずだまって手をあげること。」「早く出来ても何度も見直さなければならない。」「等々、中学校以上の学年では「試験を受ける」にあたって「ごく当たり前のこと」なのですが、小学生にはなかなか馴染みのないことばかりです。この雰囲気の中で、各時間とも黙って(当たり前ですが)問題と向き合うことはなかなかストレスがかかることです。こればかりは、子どもたちが「慣れる」しか解決法はありません。どんな状況で子どもたちがこの「試験」と向き合っているのか気になって途中何度か様子を見にいきましたが、うちの6年生たちは、一生懸命に「黙って」答案用紙に向き合っていました。ほっとしたと同時に、思わず「頑張れ!!」何事も経験は大切です!!(結果は2学期に文部科学省から返却される予定です)

☆☆☆4月24日(月) 1年生の給食がはじまりました!! わくわくどきどき!!



昨日から、1年生も給食がはじまりました。いつもそうなのですが、給食当番が並んで食器やおかずを給食配膳室まで取りにいったり、それを教室でクラスの人数分に分けて配膳して、グループで机をならべて食べる。…高学年なら『当たり前』に毎日おこなっている作業ですが、1年生にはすべてが「はじめてづくし」で、なかなか手強いことなのです。そこで、本校の給食従事員さんの甘利さんや、給食センターからヘルプで従事員さんにも来てもらい、また、担任だけではなく、養護教諭の先生や学年に所属している先生、学校アドバイザーの永澤先生にも応援に来ていただき、今年も初日を迎えました。あわせて、1組、2組とも何人かのお母さん方がお手伝いに来ていただきそれはそれは助かりました。

配膳の様子を途中私も見にいきましたが、「はじめて」のことなので、「ごこちない手つき」でしたが、子どもたちは皆、真剣に自分たちが食べる給食をクラスの全員に配っていました。そのあと、皆でいただきますをして、食べ始めると、それはそれは、実に楽しそうに初めての給食を味わっていました。

はじめは、好き嫌いを言っていた子もいましたが、家で食べるのとは違って、友達と一緒に食べることで、とても美味しそうに食がすすんでいました。

ハートコロッケです!!



To be continued (次号に続きます)